



コロナ禍では自粛、自粛で在宅ワークの保護者さんがおられたり、3密をさけるため登園自粛の願いをしたりと、園が始まって以来のことでした。ご協力大変ありがとうございました。また、北九州ではクラスターが起こったりとまだ完全な終息ではありません。出雲市では通常の生活に戻りつつありますが、一気に戻すと何か怖い気がしますので、保育園では徐々に元に戻し、楽しい園生活が送れるようにしたいと考えています。

それにしても先月18日からは、ほとんどの子どもたちが登園し「みんな揃うといいなー」「仲間っていいなー」と感じました。ただ、おうちで過ごした子どもたちは親子でのスキンシップという栄養が行き届いたようで、怒りっぽい子が穏やかであったり、落ち着いて過ごせたりと愛情たっぷりに過ごせた様子で嬉しく感じました。

さて、ここのところ天気もよくて、毎日のように散歩に出かけています。土手で虫とり、えびとりなど、自然に触れながらすくすくと身体も心も成長してほしいなと思います。

～フレーベルの言葉より～

「起立や歩行を幼児に教えようとして、杖や歩行用の板などを使用するのはよくない。幼児は自分で独立に身体の平均を保つ力がついたときに立ち、身体の平均を保つことができるときにはじめて歩行すべきものである。幼児が真直ぐに座るようになり、次に自分の傍らにある何か高いものにすがって身体を立てるようになって、しまいには一人で身体を支えることができるようになるまでは決して彼を立たせてはいけない。また、自分で這い、自分の力で立ち上がり、自分の身体を支えながら前進することができるようになるまでは決して歩行させてはならない」フレーベルの言葉です。

小さい子は興味を持ってばどんどん難しいことをし、自分を発達させようとしています。大人は無理やりさせるのではなく、子どもの育つ力を信じて待つことも大切です。子どもたちが自ら自主的に取り組み、「これもできた、あれもできた、それもやりたい！」と成功体験を積み重ねていけるようにしたいですね。子どもたちの“できる”ことを認め“したい”意志を尊重してあげたいと思います。

👕👖👗👚👛 衣替え 🍷🍷🍷🍷🍷

気温が高くなってきました。汗をかいたらこまめに着替えができるよう、着替えを多めに持たせてあげてください。(園には常時5セット置いておいてください)



～脳の話～脳科学者 茂木健一郎著より抜粋

脳に関する関心が高まっている昨今。AIなどの人工知能についても話題になっていますね。人工知能の発達は素晴らしいですが、人間の脳も負けてはいません。特に他人といろいろな意見をやりとりする感情を共有する「コミュニケーション」やこれまでにない新しいことを思いついたり生み出したりする「創造性」においては人間の脳は大きな可能性を持っています。

能力を最大限に高める方法とは？

①何か挑戦して達成感を味わうこと

②ほめること

ほめ方のポイントはすぐにほめること。そしてあなたのここがよかったとより具体的にほめることが大切です。ほめられると脳が活性化して能力を発揮できるんですね。

③生の体験をたくさんすること

本で知る知識より、山に登る、泳ぐ、魚釣りをする、料理をするなどの実際の体験をたくさん経験しましょう。実体験を通して知らない事を知ることは発達に欠かせません。

人間の人間らしい能力を伸ばしていきたいです

おなかをすかせて おいしくたべよう

脳の中には「食べたい」と感じる摂食中枢があります。それを刺激するためには、子ども自身が「おなかがすいた」と感じられる生活を送ることが大切。体をよく動かして、食事、運動、睡眠のリズムを整えましょう。

また、食事の前に歌を歌って、楽しい食事の時間を迎えるのもよいでしょう。家族で楽しく会話しながらの食事だと心も満足お腹も満足ですね。